いけだ 市議会だより

令和7年（2025年）5月1日
IKEDA City Council News
No. 194

目　次　Contents

主な審議内容 …… 2
委員会レポート ……2・3
議決結果 ……4・5
請願 …… 5
各派代表質問 …… 6～11
議会日誌 ……12
議会の予定 ……12
「予算決算審査サイクル」 …12
やまばと ……12

池田市議会本会議の
ライブ中継を
開始しました！
池田市議会　ライブ中継

撮影者　撮影マイスター倶楽部　大山 あけみさん

主な審議内容　3月定例会

3月定例会は、2月26日に開会し、報告案件1件及び市長から令和7年度各会計予算など議案53件が提出され、本会議及び委員会で審議を行い、いずれも承認・可決・同意しました。

市長の「令和7年度施政及び予算編成方針」と教育長の「令和7年度教育方針と主要施策」が発表され、それに対する各派代表質問を3月4日に行い、市民の声を市政に反映させるため、それぞれの立場から活発な議論を行いました。

そして3月25日には、市長から提出された追加人事案件1件と追加議案2件並びに議員提出議案2件を審議し、いずれも同意・可決して3月定例会を閉会しました。

「令和7年度一般会計予算を可決　総額は440億円」

子育て

増加する保育ニーズに対応するため、留守家庭児童会の受入れ学年を原則3年生までを4年生までに拡大し、保育を必要とする子どもが安全・安心に過ごすことができるよう引き続き環境整備に努めるために2,834万円を計上しています。

福　祉

老朽化した敬老会館及びその周辺施設を集約し、高齢者の生きがいづくりの支援に加え、誰もが気軽に立ち寄り、多世代の交流を図ることができる「(仮称)池田市立多世代交流施設」の建設工事を実施するために2億3,760万円を計上しています。

防　災

能登半島地震において、避難所内での衛生環境の悪化が問題となったことを踏まえ、災害用トイレなど衛生用品をはじめとする備蓄を計画的に行うために2,203万円を計上しています。

まちづくり

地域分権の推進に関する取組として、各地域コミュニティ推進協議会から提案がありました186の事業に係る予算に加え、今年度は令和8年度に迎える制度発足20年の節目に向けた市民意識調査の実施に係る費用など総額8,133万円を計上しています。

総務委員会

合葬式墓地の受付開始時期及び当該墓地に係る指定管理者への業務委託内容は
《五月山霊園使用条例の一部改正》

㊐今回の条例改正案は、五月山霊園において、多数の焼骨を合同して埋葬するための施設として合葬式墓地を設置することに伴い、所要の規定を整備するものである。

合葬式墓地は焼骨1万体を埋葬でき、被埋葬者1,600人分の氏名等を記名板に記載できるとのことだが、使用申込みの受付開始時期について問う。

また、当該墓地の管理運営は現在の市営墓地の指定管理者に委託するとのことだが、業務内容について問う。

㊎合葬式墓地の申込みの受付は、令和7年7月から開始する予定である。

指定管理者に委託する業務内容は、記名板の発注及び掲示や、納骨袋の発注のほか、使用許可書や使用料に係る納付書の受渡しなどである。

●その他の審査議案

・職員の育児休業等に関する条例の一部改正
・みんなでつくるまちの寄付条例の一部改正

など

文教病院委員会

部活動の地域移行に係る地域クラブへの委託料の今後の在り方は《一般会計予算》

問 部活動の地域移行に係る地域クラブへの委託料として、スポーツ指導委託料2,214万円を予算計上している。

令和7年1月に策定された部活動地域移行推進計画では、学校での部活動は令和10年度内に終了する方向性が示された。

また、完全移行となる令和10年度を見据えた令和9年度には、地域クラブの自走化を目指しているようだが、今後の当該委託料の在り方について問う。

答 当該委託料については、現在のところ令和8年度まで予算要求を予定しているが、指摘のとおり、令和9年度からは委託料ではなく、保護者からの会費により、各地域クラブの運営を図っていきたいと考えている。

●その他の審査議案

・未来を見据えた学校づくりのための学校施設整備審議会条例の制定
・歴史民俗資料館条例の一部改正

など

厚生委員会

令和７年度から試行的実施予定のこども誰でも通園制度の内容は《乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定》

問 本条例制定は令和8年度から本格実施される乳児等通園支援事業、いわゆるこども誰でも通園制度を令和7年度から試行的実施するに当たり、当該制度の設備及び運営に関する基準を定めるものである。

当該制度は適切に運用できれば、大変すばらしい制度であると認識しているが、実際の運用においては、保育施設の利用可能枠を超える申込みがあった場合など、全ての利用希望者が当該制度を利用できない状況が危惧される。

令和7年度の試行的実施をどのように行おうと考えているのか、見解を問う。

答 本制度は保育所等に通っていない子ども1人につき月10時間まで利用できることとなっており、毎日通園しないため、利用定員の設定は難しいが、現在策定中のこども計画において、保育の量の見込みと確保の方策について、国が示す計算式に基づき算出する予定である。

まずは、本制度の実施の意向確認ができた3施設の新年度の状況を踏まえ、認可手続を行うため、想定では夏以降に開始できるのではないかと考えている。

●その他の審査議案

・国民健康保険条例の一部改正

など

土木消防委員会

官民連携まちなか再生推進事業費に係る負担金の減額理由及び当該事業の収益向上に向けた今後の施策は《一般会計予算》

問 官民連携まちなか再生推進事業費に係る負担金が前年度当初予算に比べ、170万円の減額となっているが、その理由について問う。

また、当該事業については、令和7年度から池田駅周辺で開催しているおさんぽマルシェを自走化すると聞き及んでいるが、収益向上のために、今後どのような施策を行おうと考えているのか。

答 当該事業に係る負担金の減額理由については、これまで社会実験として位置づけて実施してきたおさんぽマルシェを令和7年度からはステップアップして、池田駅周辺の回遊性向上を目指した官民連携イベントとして負担金に頼らない自走化したものを目指したいと考えたためである。

また、収益向上のための施策は、官民連携エリアプラットフォームの活用をはじめ、おさんぽマルシェへのマルシェやキッチンカーの出店料や、企業等からの協賛金、オリジナルTシャツなどのグッズ販売などで行うとともに、参画者同士連携して、支出を抑えていく工夫が必要であると考えている。

●その他の審査議案

・建築基準法施行条例の一部改正
・長期優良住宅の普及の促進に関する法律に係る手数料条例の一部改正

など

議決結果

提出議案等 賛成：○　反対：×　退席：退 全員異議なし：（全） 賛成多数：（多）　賛成少数：（少） （注）議長は採決には加わりません。	議決結果	大阪維新の会池田					池田未来の会				自由民主党			公明党			未来はぐくむプロジェクト			日本共産党		無所属
		笹村有理子	三宅正起	安黒善雄	古川裕倫	沖本純子	中田正紀	守屋大道	坂上昭栄	下窄明	小林義典	浜地慎一郎	松本康二郎	多田隆一	荒木眞澄	藤本昌宏	倉田晃	名村研二郎	園部佳子	山元建	藤原美知子	西垣智
〈 3月定例会 〉																						
処分報告について 専決第7号 令和6年度池田市一般会計補正予算（第8号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市未来を見据えた学校づくりのための学校施設整備審議会条例の制定について	（多）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	×	×	○
池田市個人番号の利用等及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市みんなでつくるまちの寄付条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市市税条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市国民健康保険条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
五月山霊園使用条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市北部大阪都市計画国道176号沿道地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市建築基準法施行条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市長期優良住宅の普及の促進に関する法律に係る手数料条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市都市の低炭素化の促進に関する法律に係る手数料条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律に係る手数料条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市水道事業給水条例等の一部を改正する条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市下水道条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市立歴史民俗資料館条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市ラブホテル建築規制条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
財産区管理委員の選任について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市病院事業会計補正予算（第1号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市水道事業会計補正予算（第1号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市一般会計補正予算（第9号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市病院事業会計予算	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市水道事業会計予算	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市公共下水道事業会計予算	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市国民健康保険特別会計予算	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市財産区特別会計予算	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市介護保険事業特別会計予算	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市後期高齢者医療事業特別会計予算	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市一般会計予算	（多）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	×	×	○
人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び池田市立幼稚園型認定こども園の教育職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市病院事業会計補正予算（第2号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市水道事業会計補正予算（第2号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度池田市一般会計補正予算（第10号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市病院事業会計補正予算（第1号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市水道事業会計補正予算（第1号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○

提出議案等 賛成：○　反対：×　退席：退 全員異議なし：（全） 賛成多数：（多）　賛成少数：（少） （注）議長は採決には加わりません。		議決結果	大阪維新の会池田					池田未来の会				自由民主党			公明党			未来はぐくむプロジェクト			日本共産党		無所属
			笹村有理子	三宅正起	安黒善雄	古川裕倫	沖本純子	中田正紀	守屋大道	坂上昭栄	下窄明	小林義典	浜地慎一郎	松本康二郎	多田隆一	荒木眞澄	藤本昌宏	倉田晃	名村研二郎	園部佳子	山元建	藤原美知子	西垣智
令和7年度池田市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）		（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度池田市一般会計補正予算（第1号）		（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市立旧敬老会館・旧白寿荘撤去工事請負変更契約の締結について		（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市教育長の任命について		（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	退	退	○
令和6年度池田市一般会計補正予算（第11号）		（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について		（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
池田市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について		（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
学校給食無償の制度化と、給食の質・量の改善を求める請願	第1項※	採択（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○
	第2項※	不採択（少）	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	−	×	×	×	×	○	○	×
高額療養費制度の負担引上げの見直しを求める意見書		採択（全）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○

※第１項…学校給食費無償の制度化を強く国に求めること

※第２項…国による学校給食費無償の制度化実現までの間は池田市として給食費無償を制度化し継続することと合わせて、「食育としての給食」に見合ったものとなるよう、給食の質・量の水準を向上させること

学校給食無償の制度化と、給食の質・量の改善を求める請願について

請願

※請願とは、住民（市外の方、法人も可）が市議会に市政についての要望を申し出ることで紹介議員が必要です。

令和６年11月に市民の方から提出され、12月定例会から継続審査となっていました上記請願は、令和７年２月20日に文教病院委員会で審査した後、２月26日の本会議において採決を行いました。

採決方法

請願項目を下記のとおり区分して採決を行いました。

第１項　学校給食費無償の制度化を強く国に求めること

第２項　国による学校給食費無償の制度化実現までの間は池田市として給食費無償を制度化し継続することと合わせて、「食育としての給食」に見合ったものとなるよう、給食の質・量の水準を向上させること

採決時の討論内容

第１項　賛成

・国による学校給食費無償の制度化を実現するためには、地方自治体や地方議会が強く国に求めることが重要である。

第２項　賛成

・都度、学校給食費無償化の実施の可否を決めるのではなく、恒常的な制度とし、無償化への決意のほどを示すことが国による学校給食費無償の制度化実現につながる。

反対

・市の単費で給食費無償化を制度化し、かつ、給食の質・量の水準を向上させることは、市の財政をさらに圧迫することになる。

・市で制度化することは、財政状況を考慮せず、無償化を継続することであり、将来の事故や災害等による突発的な支出への対応に影響を及ぼす可能性がある。

・物価高の中、予算の範囲内で食材選定や献立の工夫をし、おいしい給食提供に努めている。

・食材や調理方法に好き嫌いがあるのは当然であり、また、残食を減らす取組やSNSでの情報発信などにも力を入れており、現状においても食育の観点での取組について着実に進めている。

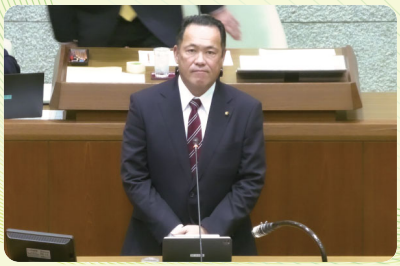
結　果

第１項　採択（全会一致）　　**第２項**　不採択（賛成少数）

本会議録画映像はこちらから▶

各派代表質問

一人ひとりの市民の声を聴きながら、市民に寄り添い、市政を推進していく



池田未来の会

所属議員

中田　正紀　　守屋　大道　　坂上　昭栄
下窄　　明

発言者

もりや　ひろみち
守屋 大道 議員

障がい者の雇用機会拡大の取組について

問 障がい者が地域で暮らし、地域の一員としてともに生きる社会の構築は重要。就労機会の確保や雇用機会を拡大する取組を伺う。

答 障がい者の就労に向けた準備や就職活動の支援・職場定着の支援など、一貫した就労支援が行えるよう、関係機関と連携するとともに、障がい福祉サービスにおける就労移行支援・就労定着支援サービスを提供することにより、障がい者の雇用機会の拡大に努めている。

公共施設の設備更新について

問 脱炭素社会の実現を目指す本市として、公共施設の設備更新について伺う。

答 公共施設の設備更新を実施する場合はLED照明等の省エネ性能の高い機器の導入を進めていくとともに、施設を新設・改築する場合は、太陽光パネルの設置や蓄電システムの導入等建物のZEB化も含めて検討していく。

ひきこもり相談窓口について

問 ひきこもり相談窓口の開設について、どのように運用していく方針か見解を伺う。

答 専門的・継続的な支援を実施するため、社会福祉協議会にひきこもり相談窓口を開設。

猪名川花火大会の開催について

問 令和7年度の花火大会は中止。今後は隔年開催となる。市民も夏の風物詩として楽しみにしているが今後の見通しを問う。

答 開催費用の高騰により、隔年開催と決定した。共催市である川西市と財政状況を勘案し、様々な視点から開催に向けて協議していく。

人づくりをどのように行っていくのか

問 持続可能なまちづくりをともに形成していくために最も大切と言える人づくりをどのように行っていくのか方針を伺う。

答 職員が市民をはじめとする多様な主体とつながり、地域の課題などの情報を共有し、それぞれの得意分野を生かしながらその輪を広げる役割を果たす必要があるものと考えている。

生きる力を育むために必要な教育方法とは

問 学校教育において時代に合った多くの改革があるが、新しいものを取り入れつつも決して変化させてはならない不易と流行とは。

答 学校教育の本質は人と人とが関わり、人を育てることである。技術の活用は大事であるが、機械やAIが知識を教えるものではなく、人と人とが関わり合いながら寄り添い、よい方向へ導くことの積み重ねがその本質と考える。それを追求していく上でしっかりと不易と流行を見極めることが重要である。子どもたちの実感を伴う体験的な学び、また他者と関わり、互いを高め合う協働的な学びを大切にしつつ、時代の変化に柔軟に対応し、時代を超えて変わらない価値あるものを大切にして、子どもたちが豊かに育つ教育の実践を進めていく。

諦めではなく
市民に希望を示す市政へ

日本共産党

所属議員
山元　建　　藤原美知子

発言者
やまもと　たけし
山元　建
議員

学校給食無償継続を

問 2025年度上半期も無償化を継続するとのことだが、さらなる継続を。国にもその制度化を求めていくべき。

答 物価高騰が続く中、子育て世代の負担軽減に資する施策と認識。さらなる継続は財政状況を見て検討。石破首相からも令和８年度以降できる限り早期の制度化を目指したいとの表明があり、国にも要望していく。

危険な万博招待事業を中止せよ

問 万博会場の危険性は以前にも増して高まっている。吹田市、交野市などにも倣って子どもたちの招待事業への不参加を決断すべき。

答 各学校が希望した日程･交通手段で校外学習として実施。最新情報を学校へ周知していく。

国保料等の負担軽減を

問 全国一高いといわれる大阪府の国保料、介護保険料、後期高齢者保険料の引下げを府に求めると同時に市独自の軽減策を講じるべき。

答 年々保険料が上昇傾向であることは認識している。低所得者には公費を投じて保険料の軽減を実施している。国保料は府の統一保険料であるため市独自の軽減はできない。

高齢者の補聴器購入に補助すべき

問 高齢者の社交性を確保し認知症予防に効果がある加齢性難聴用補聴器購入に補助すべき。

答 助成を行っている自治体はあるが、まずは国がすべきことであり、池田市ではしない。

小中一貫校の総括を

問 学力向上、いじめ・不登校の克服を掲げた小中一貫校ほそごう学園が開校10年を迎える。市教育委員会から独立した公正公平な場で総括すべき。

答 学校教育自己診断アンケートや市教育委員会活動点検評価委員会の場で調査・検討する。

くれは音楽堂の使用料引下げを

問 市施設の使用料が高い。リニューアルするくれは音楽堂から大幅値下げに踏み出すべき。

答 くれは音楽堂はリニューアルを機に見直し検討する。

諦めを説くのではなく希望を語る市政を

問 市は国の人口推計などを基に少子高齢化、人口減、ひいては税収減となると諦めを説いてきたが、子育て施策等の充実で人口増、税収増を図るべき。学校給食無償化や35人学級（小学校）の実施など池田市をはじめとした地方自治体の先進的な施策で国をも動かしてきたことも確信にして市民に希望を語るべき。

答 各分野で次代を見据えた施策を展開してきた。今後も各施策を通して希望を示したい。

各派代表質問

未来に希望が持てる
安全・安心なまちづくりの推進を！

自由民主党

所属議員

小林　義典　　浜地慎一郎　　松本康二郎

発言者

こばやし　よしのり
小林　義典
議員

池田駅前再整備・コミセン跡地活用について

問 池田駅前空間の再整備やコミュニティセンター跡地の有効活用について、どのように考えているのか見解を問う。

答 池田駅前については、本市の玄関口として市内の交通結節点としての機能は維持しつつ、市民や来街者の交流が生まれるような快適に滞在することができる駅前空間を目指している。コミュニティセンター跡地の有効活用については、将来的な公共施設再編の用地としての可能性も考え、広場整備などを検討している。

こども誰でも通園制度の試行実施について

問 試行的に事業を実施するということだが、どこの施設でどのような内容で実施する予定であるのか問う。

答 複数の民間保育施設における実施意向を確認している。一時的な利用や定期的な利用、保育所等の空き定員を活用する方法など様々な方法があり、事業実施施設の実情に応じて実施できるよう調整していく。

自主防災組織への補助と防災士資格取得補助

問 自主防災組織への支援として資機材の購入補助と防災士資格取得への一部補助を行うということだが、具体的補助内容と継続的に補助を考えているのか見解を問う。

答 資機材の購入補助については、世帯ごとに補助額を定め各自主防災組織が必要とする資機材の購入に充ててもらうことにしている。補助の実施により共助の推進と地域防災力の向上につなげていく。防災士資格取得助成については、資格取得に係る費用の２分の１を助成するというもの。継続的補助については、今後の執行状況を踏まえ検討していく。

道路補修・再整備のスピードアップについて

問 道路の補修・再整備が追いついていないと感じる。スピードアップを図る必要があると考えるが見解を問う。

答 老朽化した道路施設の増加に対して、補修や再整備のスピードアップを図るため、国の交付金や地方債等を活用し、財源を確保しつつ効率的に再整備を行い、安全で安心な道路空間の確保に努めていきたい。

中学校クラブ活動の地域移行について

問 令和10年度内の地域移行を考えているようだが、受皿となる地域クラブの育成・充実がなければ地域移行することはできないと考える。地域クラブの現状を問う。

答 現在は実施種目をスポーツに絞っており、バスケットボール・バレーボール・剣道・卓球・ダンス・柔道・バドミントン・ハンドボール・サッカーの9種目が運営されており、文化系の実施はない状況。令和7年度にはクラブ数を大きく増やす想定をしている。令和10年度の地域移行に向けて文化系のクラブを含め多様な種目が実施できるように呼びかけていく。

市民と力を合わせて協働し、未来に希望をはぐくむ池田市の実現へ

未来はぐくむプロジェクト

所属議員

倉田　晃　　名村研二郎　　園部　佳子

発言者

園部 佳子 議員（そのべ けいこ）

市長の自己評価、達成・未達成事項について

問 市長としてこれまでの３年半を振り返り、達成・未達成等の自己評価を問う。

答 多様な主体との協働したまちづくりの推進や誰もが自分らしく生きられる社会実現への取組、給食費無償化等の子育て支援には成果を得たが、安定した財政基盤の確立には課題が残り、事業の見直しが必要だと考えている。

学校給食費無償化の不平等の是正について

問 私立・国立校に通う方、不登校の方、アレルギーで給食を食べられない方には、給食費無償化の支援は届かず、著しく不平等な状況であり是正が必要だが、見解を問う。

答 指摘のとおり、給食を喫食できない児童・生徒への対応については、課題があると認識している。文部科学省を中心に無償化の議論が本格化しており、国の情勢を注視していく。

ひきこもり相談窓口開設について

問 ひきこもり相談窓口が明確に設けられることを評価する。市の福祉生活相談窓口との連携や人員拡充、相談体制について問う。

答 池田市の福祉生活相談窓口と社会福祉協議会に新設するひきこもり相談窓口は、各種関係機関を含め、定期的に支援調整会議等を開催しながら連携していく。社会福祉協議会で必要な人員を確保し、ひきこもり状態にある本人や家族等に専門的・継続的な支援を実施する。

（仮称）未来の学校づくり推進計画について

問 未来の学校づくり審議会の設置において、子どもの意見を聞くために子ども委員を設けるか。子どもの意見聴取について問う。

答 審議会では大局的で高度な議論が行われると予想され、子ども委員を設ける予定はないが、施設整備の検討において、実際に学校で学ぶ子どもの意見は非常に重要と考え、今年度に市立学校の全児童・生徒に対しアンケート調査を実施し、約3千件の回答を得た。子どもの意見も聴取しながら、整備内容の検討をしていきたい。

コミュニティスクールについて

問 令和７年度にコミュニティスクールになる学校と今後のスケジュールを問う。

答 令和７年度はきたてしま学園の３校を予定しており、残るいけだ学園、しぶたに学園については、令和８年度以降、可能な限り早くコミュニティスクールにしたいと考えている。

部活動地域移行の方針について

問 部活動地域移行に関して、大切にしていきたい方針を問う。

答 １つに、通っている中学校にかかわらず、文化・スポーツ活動ができる環境を保障し、大人になっても種目を続けられるよう目指していく。２つに、誰かの熱意やボランティア精神に依存しない運営体系を確立し、安全安心に専門指導を提供できる持続可能な活動を目指していく。

各派代表質問

「選択と集中」生産性向上を目指す インバウンド対策に注力を！

大阪維新の会池田

所属議員

笹村有理子　三宅　正起　安黒　善雄
古川　裕倫　沖本　純子

発言者

ふるかわ　ひろのり
古川　裕倫
議員

商店街の活性化に関する取組について

問 商店街の支援や中心市街地のさらなる活性化には、集客が肝心。年間90万人（内3分の1がインバウンド）と言われる来訪者があるカップヌードルミュージアム大阪池田が商店街の近くにあるが、当該施設以外をスルーする来訪者が多いと感じる。観光案内掲示板の改修の際には、五月山動物園への導線を意識し、英語の案内も加えていただきたいと考えるが、見解を問う。

答 市内14か所の観光案内掲示板は、五月山動物園への導線を含めた市内周遊を目的として設置しているが、情報の更新ができていなかったため、今回改修を行うところ。掲示板はスペースや掲載内容に制約があるため、各施設のQRコードを掲載することにより、スマートフォンにて多言語での施設内容の確認ができるよう利便性の向上に努めていきたいと考えている。

インバウンド対策について

問 池田、石橋とも駅前にホテルがなく、どうしても短時間滞在となるが、民泊・民宿を進めるのはどうか。市街地は宿泊客が迷惑なら、商店街を民泊化すべき。布施の商店街の「世界ホテル」が参考になる。既存ホテル対民泊という構図ではなく、予約システムを持つホテルが民泊業に進出するのもありと考えるが見解を問う。

答 滞在時間の確保は商工振興につながると考える。ホテルや民泊事業者が進出したいと思える商店街となるよう、商店街が行っているインバウンド対策の取組を支援していく。

業務や事業の「選択と集中」について

問 選択と集中の観点から、休日急病診療所の歯科診療廃止に賛同する。背景と内容を伺う。また、年間の直接経費と間接経費の削減額を伺う。

答 昭和53年4月より内科、小児科、歯科の休日及び年末年始の診療を実施してきたが、歯科診療は令和元年末頃から患者数が半減した一方、近年本市でも休日診療する民間歯科が増加しており、令和7年3月31日をもって終了する。直接経費は年間約630万円、間接経費は医療機器の更新費用や診療報酬事務のオンライン化の費用等約2千万円が不要となる。

費用対効果、選択と集中、足し算と引き算

問 過去からやってきたことをやめる「引き算」には勇気が要る。ただ、環境は常に変化しているほか少子高齢化による税収減もあり、費用対効果を考えた事業継続の必要性や改廃を全ての部署で常に見直すことが必要。総合計画には、何をしたいかという定性計画のみがあり、懐具合がどうなのかという定量計画がない。5年後だけではなく10年後の収益予想も公表すべき。

答 事業はその時々の時勢に応じた取組も必要であると考えており、毎年編成をしているが、取り組んできたものをやめるとなると、事業の効果や目的なども考慮した上で、副市長と共に判断をしている。公共施設等再整備事業計画の公表に合わせて、財政推計のお示しも必要と認識している。

SDGs達成への施策推進を

公 明 党

所属議員
多田　隆一　　荒木　眞澄　　藤本　昌宏

発言者
ふじ もと まさ ひろ
藤本 昌宏
議員

万博の設備等のリサイクルについて

問 終了後のパビリオンの廃材や設備を、リニューアルする五月山動物園、池田駅南広場、多世代交流施設また新設のやまばと学園と古江保育所との複合施設等でリサイクルをしてはどうか。万博終了直後であることから、話題性もあり地域活性化にもつながるのでは。

答 循環型世界を目指すSDGsの観点から、本市の環境施策の推進に寄与するもの。協会からの情報を注視する。

「男女共同参画」について

問 日本のSDGs達成度で2番目に達成度が低いのが目標5「ジェンダー平等を実現しよう」である。これは、日本が一番取り組むべき項目であると言われている。達成のためには男女共同参画を促すことが重要では。

答 本市としては、施策や方針の決定過程に女性が参画する機会の確保に努めて、誰もが活躍する社会を目指す。

「ひきこもり相談窓口」について

問 このような相談窓口は、断らない包括的な相談支援となり、高く評価する。また、8050問題の対策につながると考える。そこで、電話相談による大阪府ひきこもり地域支援センターとの情報共有などで連携しては。

答 当該センターと既に、協議をして、社会福祉協議会を交えた支援調整会議への参加要請や支援者向け研修への講師派遣依頼なども検討中。今後一層密に連携協力し、支援方法について助言をいただき、ひきこもり支援を推進する。

予防接種の費用助成の拡充について

問 帯状疱疹ワクチン予防接種は、定期接種となるが、対象外である50～64歳の方への接種費用助成の市独自での実施は、健康寿命の延伸、労働損失の軽減、医療費削減につながり費用対効果があると考えている。そこで、定期接種の対象外の方にも費用助成を市独自で実施し、また、定期接種対象の方にも市独自の費用助成の上乗せを。

答 接種機会の確保のため本市を含めた豊能地区において同一金額で接種できるよう調整しており、独自の助成は困難である。

小中学校での「主権者教育」について

問 文部科学省では、小中学校向けに「主権者として求められる力」という資料を作成された。また、中学生においては社会科の特別活動に取り入れて、「政治の仕組みについて学ぶだけでなく、この社会を支える主権者として政治的教養を身につけ、社会への参加意識を高めていくこと」を目指されている。本市に、こういった特色ある取り組みを。

答 一部の小学校では、選挙管理委員会の協力の下、模擬選挙体験などで、主権者意識を育む授業を実施している。今後も各関係部局と連携し、主権者教育の充実が図られるよう、指導助言する。

議会日誌

月	日	内容
1	31	議会運営委員会
2	20	文教病院委員会
	21	予算内示会 各派代表者会議 議会運営委員会
	26	市議会定例会 市議会だより編集特別委員会
3	4	市議会定例会 各派代表者会議
	5	議会運営委員会 市議会定例会
	7	土木消防委員会
	10	厚生委員会
	11	文教病院委員会
	13	総務委員会
	25	各派代表者会議 議会運営委員会 市議会定例会
4	7	市議会だより編集特別委員会
	14	市議会だより編集特別委員会

議会の予定

市議会の役員選出を主として審議するため、5月13日（火）に臨時会を開催する予定です。

6月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。（定員あり）

月	日	曜日	内容
6	5	（木）	本会議
	9	（月）	委員会
	11	（水）	委員会
	12	（木）	委員会
	13	（金）	委員会
	24	（火）	本会議
	25	（水）	本会議

「予算決算審査サイクル」 ～議会からの提言について～

昨年12月に、令和7年度の予算編成に向けた、12の提言を市長に提出し、以下のとおり、8つの提案が反映され、残り4つの提案は引き続き検討されることになりました。

主な反映結果

●あらゆる人権問題に係る取組の推進について

人権・ジェンダー問題について、男女共同参画セミナー等を継続的に開催し、啓発活動や制度周知を図っていく。また、DV被害者や困難女性等に対する相談を引き続き開設する。実態調査は、厚生労働省等のデータを活用し、池田地区企業人権啓発推進員協議会等での「男女間の賃金格差解消のためのガイドライン」の配布やジェンダーギャップ解消に向けた研修会を開催していく。

●教職員の働き方改革について

学校における留守番電話の導入は、教職員の時間外勤務時における電話対応が減少するなど、深刻な長時間勤務の改善に効果的である。また、大阪府下の自治体でも導入が進んでいることから、早急に各学校園への留守番電話（時間外音声メッセージ機能あり、録音機能なし）の導入を実施していく。

●こども食堂への支援の拡充について

こども食堂は、子どもたちに食事を提供する場としてだけでなく、子どもの居場所になるなど、大変意義深い役割を果たしている。新たに立ち上げる団体や、小規模ながらも地域に根差した活動を行う団体への支援を積極的に実施していく。

●池田駅北側の再整備並びに公園遊具の定期点検等の実施について

池田駅北側の再整備については、日清食品ホールディングスの新施設計画を踏まえ、居心地がよく歩きたくなるまちなかの実現に向け、「てるてる広場」や「バスロータリー」に、子どもたちが集える親水空間の設置や、休憩スペースを設けた再整備を検討していく。公園遊具の定期点検等は、日常及び定期的な点検や維持管理を適切に行い、順次、老朽化した遊具の補修・改修及び更新を行うよう努める。

その他

●市立池田病院の安定経営及び医療従事者の確保について
●保育の質の向上について
●道路整備関連予算の拡充について
●地域公共交通の導入について

お詫びと訂正

いけだ市議会だより193号（令和7年2月1日発行）7ページの内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

【訂正箇所】 7ページ「松本康二郎議員の一般質問」

誤 問2 Society5.0を見据え、高齢者や**視覚**障がいのある方～

正 問2 Society5.0を見据え、高齢者や**聴覚**障がいのある方～

やまばと

市民の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本市議会3月定例会では、令和7年度の市長の「施政及び予算編成方針と主要施策」及び教育長の「教育方針と主要施策」に対して、各会派が代表質問を行いました。

また、各常任委員会では予算や条例などに対する審査が行われました。その内容は本号に掲載しております。

現メンバーでの編集による「いけだ市議会だより」は、今号で最後となります。

1年間御愛読いただき、心より感謝申し上げます。

次号から、新たなメンバーでの編集による「いけだ市議会だより」をお届けしますので、引き続き御愛顧賜りますようお願い申し上げます。

市議会だより編集特別委員会

●委員長 藤本 昌宏　●副委員長 下窄 明
●委員 古川 裕倫　松本 康二郎　園部 佳子　藤原 美知子

いけだ市議会だより No.194
令和7年（2025年）5月1日発行

編集発行：池田市議会　https://www.city.ikeda.osaka.jp/
〒563-8666 大阪府池田市城南1丁目1番1号
TEL. 072-754-6170　FAX. 072-753-5414